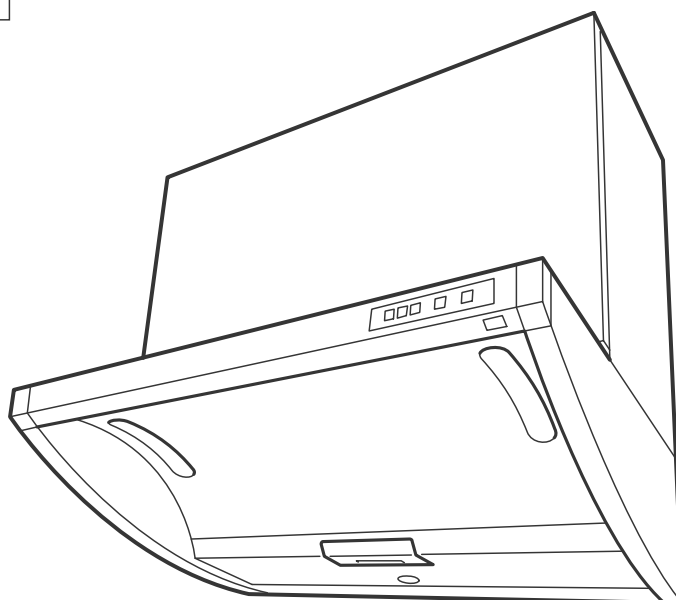


NSTシリーズ レンジフード

取扱説明書

保証書付





● も く じ ●

	ページ
安全上のご注意	2
使用上のお願い	4
各部のなまえ	5
ご使用方法	
操作スイッチの使い方	5
レンジフード連動タイプ専用調理器具との組み合わせ	6
点検・お手入れ方法	
点検・お手入れにあたって	7
レンジフード本体のお手入れ（外観部）	7
オイルトレイのお手入れ	7
キャッチプレートのお手入れ	7
整流板のお手入れ	8
ファン・ケーシングのお手入れ	9
フード本体内部のお手入れ	9
故障かなと思ったら	10
本製品の設計上の標準使用期間について／仕様	11
保証とアフターサービス	12

このたびはレンジフードをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用される前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは取付設置説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意

◆警告表示と注意表示について

 警告	取扱いを誤った場合、人が死亡、または重症を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	取扱いを誤った場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

●その他お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。



製品の取り扱いにおいて、その行為の禁止を告げる図記号です。



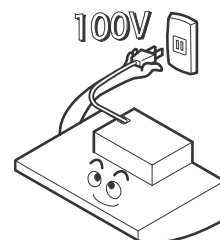
製品の取り扱いにおいて、その行為を強制する内容を告げる図記号です。



警告



交流100V以外では使用しないこと。



レンジフードはしっかり固定されているか確かめる。

しっかり固定していないとレンジフードが落下してケガをする恐れがあります。

ガタツキ等がありましたら、ただちにお買求めの販売店にご連絡ください。



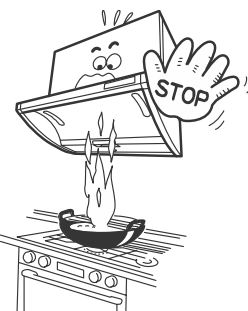
整流板はしっかり固定されているか確かめる。

しっかり固定していないと、整流板がはずれケガをする恐れがあります。



運転中、油に火がついたときは、運転を止めること。

運転をしていると、火の勢いがよけいに強くなります。




ガス漏れのとて、スイッチを切/入しないこと。

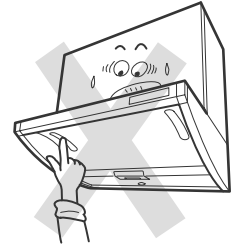
ガス爆発の原因になります。




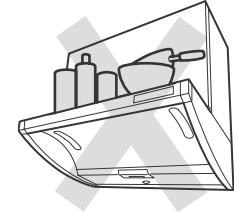
電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭くこと。


火災の原因になります。

 運転中は、整流板や周辺の部品に指や物を絶対に入れないこと。
やけどやけがをするおそれがあります




 レンジフードの上にものを置いたりしないこと。
レンジフードが変形したり、落下してけがをしたり、火災や故障の原因となります。




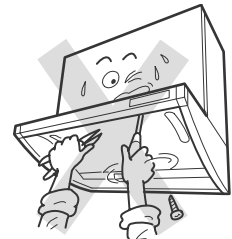
 本体に異常な振動が発生した場合、使用しないこと。
本体・部品の落下によりけがをするおそれがあります。


注意

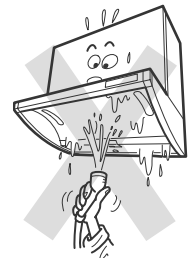
 お手入れの際は、レンジフードの運転を停止し、照明を消すこと。
次に必ずスイッチをロックするか、分電盤のレンジフードファン専用のブレーカーを下げる（電源を切る）こと。
その際、ぬれた手で「入/切」しないこと。
感電や怪我をすることがあります。




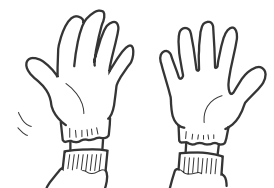
 修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理・改造をしないこと。
発火したり、異常動作をしてけがをすることがあります。
ショート・感電のおそれがあります




 電気部品（モータ・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと。
火災・感電の原因となります。












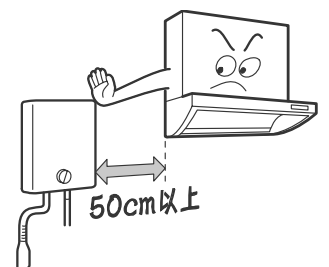
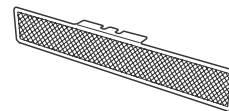
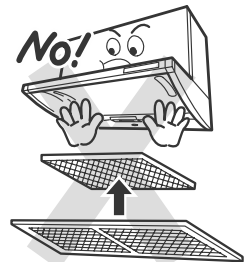
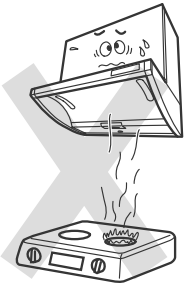
 お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること。
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります。



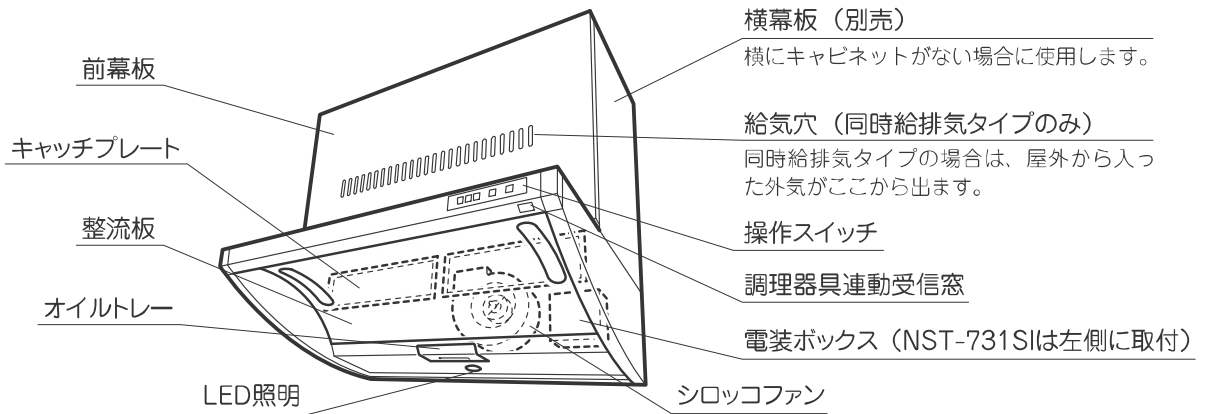
 お手入れの際にはずしたファンや部品の取り付けは確実にすること。
落下によりけがをするおそれがあります。

使用上のお願い

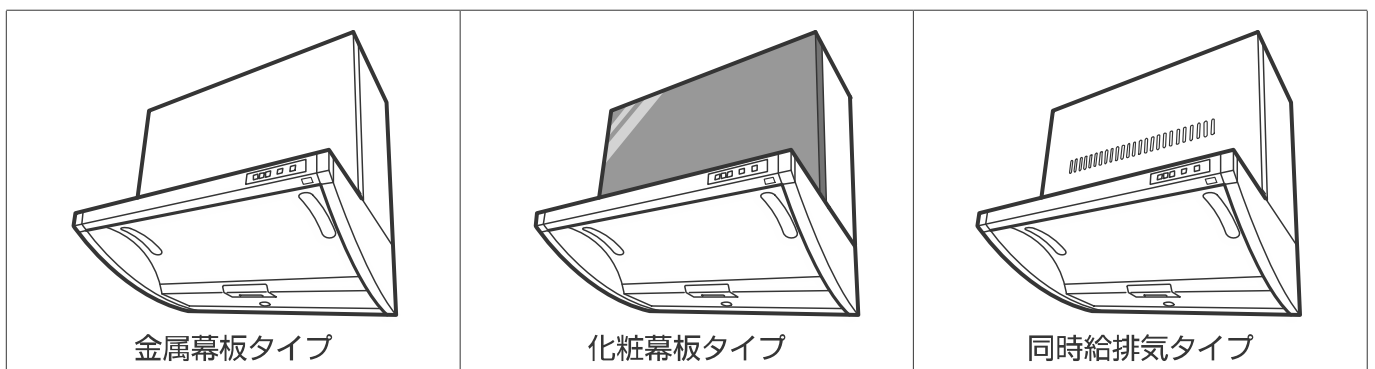
-  調理器具を使用するときは、必ずレンジフードを運転してください。
酸欠や一酸化炭素中毒になる恐れがあります。また、フード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因となります。
-  レンジフードの運転中は換気をおこなってください。
レンジフードの反対側の壁に空気の入入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください。
空気の取り入れが不十分ですと換気性能が低下します。
-  部屋の扉や窓からの風、エアコンおよび扇風機などの風をあてないでください。
風にあたると、煙の捕集性能が低下します。
特に、IHクッキングヒーターは上昇気流がほとんどないため、オープンな場所ではさらにレンジフードから煙が漏れやすくなります。
-  調理器具の空だきは絶対にしないでください。
製品の損傷や高熱による故障の原因となります。
-  キャッチプレートを市販のものに交換したり、重ねて使用しないでください。
性能を維持するため、専用のキャッチプレートをご使用ください。
-  キャッチプレートを食器洗い乾燥機で洗わないでください。
キャッチプレートの塗装を傷めるおそれがあります。
-  レンジフード表面が結露した場合は、拭き取ってご使用ください。
IHクッキングヒーターをご使用の場合、キッチンの気温が低いときに使用されたり、大量のお湯を沸かし続けた場合に、レンジフードが結露することがあります。
-  油やレンジフード内部の結露は、オイルトレイ一杯になる前に捨ててください。
IHクッキングヒーターをご使用の場合、フードがあたたまりにくいため、結露（水滴）が生じることがあります。
内部の結露はオイルトレイにたまりますが、一杯になるとあふれてこぼれます。
特に冬季などの気温の低い状況では、結露水がたまりやすくなります。
-  湯沸器はレンジフードから50cm以上離してください。
ガス湯沸器周辺はかなり高温になるので50cm以上離してください。
湯沸器の上部には絶対にレンジフードを取り付けないでください。製品の損傷や高熱による故障の原因となります。



各部のなまえ



◆シリーズのなまえ



ご使用方法

操作スイッチの使い方

常時換気スイッチ

- スイッチを押すごとに常時換気の入/切を繰り返します。「入」ランプが点灯します

3分後切スイッチ

- 使用中の風量で約3分間運転後に停止します。(運転ランプはその間点滅します)

風量の目安 (運転ランプ表示)

- ターボ…大量の煙
すばやく換気したい時
- 強…煙の多い時
早く換気したい時
- 中…通常の運転時
- 弱…煙の少ない時
静かに運転したい時



切スイッチ

- 押すと運転を停止します。

入スイッチ

- 押すと運転を開始します。スイッチを押すごとに 弱→中→強→ターボ とランプ表示が変化します

照明スイッチ


- 押すと照明が点灯します
- スイッチを押すごとに点灯/消灯を繰り返します

※同時給排気タイプの場合、フードの排気口にある「排気電動シャッター」が開いてからファンが回る構造となっています。

「入」スイッチを押してから約4秒位でファンが回り始めますが、故障ではありません。

便利な機能

■3分後切スイッチ

通常、調理が終わった後は、スイッチを押してください。ご使用になっていた運転の運転表示ランプが点滅し、そのままの風量で約3分間運転し続けて自動的に運転を停止します。

※常時換気スイッチが「入」になっている場合は、約3分後に常時換気運転に切り替ります。

※照明は消えません。照明スイッチを押すと消えます。

■常時換気スイッチ

調理時の局所換気とともに、キッチン全体の換気も行います。気密性の高い住宅では汚れた空気や、湿気・臭いがたまりやすくなり、このスイッチを「入」にすると約70m³/時間で換気します。

■切り忘れ防止タイマー

このレンジフードは切り忘れ防止のため、最後に操作したときから約5時間運転し続けると自動的に運転を停止します。(ブザー音が「ピー」と鳴ります)

ふたたび運転するときは「入」スイッチを押してください

なお常時換気スイッチが「入」の場合は、約5時間後に照明が消え、常時換気運転に切り替わります。照明点灯のみの場合でも5時間経過後にブザー音が「ピー」と鳴り消灯します。

■スイッチのロック機能

※この操作は本体の点検・お手入れの際には必ず行ってください。

●停止中もしくは運転中に、「切」スイッチを約3秒間押し続けると「ピー」音が鳴り、スイッチがロックされます。

ファンは停止し、「切」以外のスイッチを押しても警告音「ピピッ」が鳴り、動作はしません。但し、照明はロックがかからず照明スイッチにより点灯/消灯が出来ます。

●ロック解除には、もう一度「ピー」と音がするまで「切」スイッチを約3秒間押し続けます。

ロック解除後は、必要に応じて、「運転」スイッチを再操作してください。

※停電した場合やブレーカーを切った場合は、ロックが解除されます。

※点検・お手入れは調理を終え、レンジフードが十分さめた状態で行なってください。

◆レンジフード連動タイプ専用調理器具との組み合わせ

レンジフードは連動調理器具（ガスこんろ・IHクッキングヒーター）と組み合わせ調理器具の操作により運転をおこなうことができます。

お願い

連動調理器具が発信する赤外線信号は、直接または人体に反射したものがレンジフードの連動受信窓で受信されます。

鍋、釜や操作する際に手や頭等で、赤外線信号を遮らないようにしてください。また、連動調理器具を操作する際は、レンジフードで赤外線を受信出来る位置に立って操作を行なってください。

※連動調理器具によっては、複数回発信しています。

●連動調理器具を着火（運転）すると、自動的にレンジフードは「中」運転をおこないます。

この運転中でもレンジフードの「入」スイッチでの風量切り替え、「切」スイッチでの停止、「照明」スイッチでの照明の点灯・消灯もおこなうことができます。

●連動調理器具を消火（停止）した時、レンジフードは使用中の風量で約3分間運転が継続し自動で停止します。

※照明は自動消灯しません。

●連動調理器具の操作パネルでもレンジフードの運転、停止、照明の点灯・消灯などがおこなえます。詳細については連動調理器具の取扱説明書をご覧ください。

ただし、連動調理器具によっては「ターボ」運転にならない場合がありますので、レンジフード側の「入」スイッチを押して「ターボ」運転にしてください。

点検・お手入れ方法

点検・お手入れにあたって

- このレンジフードは、キャッチプレートから内部に入った油がオイルトレイにたまる構造です。オイルトレイとキャッチプレートを定期的にお手入れしてください。また内部のファン・ケーシング、ファン吸入口周り、整流板内部も時々、お手入れしてください。



注意



点検・お手入れ後は、外した部材が確実に取付けられていることを確かめる。取付けが不十分ですと、部品が外れて危険です。

- 有機溶剤は使用しないでください。また酸・アルカリ性の洗剤は使用しないでください。レンジフードが変色・変質します。
 - ・有機溶剤
シンナー・ガソリン・アルコール・アセトンなど
 - ・酸・アルカリ性の洗剤
トイレ・タイル用洗剤、サビ・カビ取り剤など
- タワシや磨き粉は傷をつけますので使用しないでください。

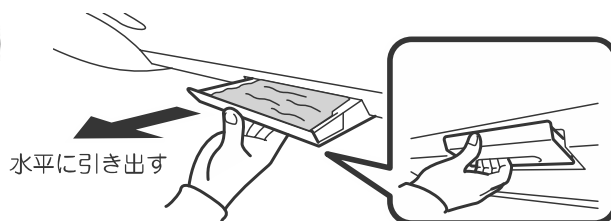


レンジフード本体のお手入れ（外観部）

- 油の付着、汚れ等がありましたら中性洗剤を使用し、やわらかい布で拭いてください。
- 必ず空拭きをし、完全に乾燥させてからご使用ください。
- レンジフードに水や洗剤をかけないでください。
- 同時給排気タイプの場合、給気穴に指をはさまないように、注意してください。

オイルトレイのお手入れ〔月1回程度〕

月1回程度、オイルトレイの油量を確認してください。オイルトレイの半分くらいの油がたまるまでに油を捨て、洗浄してください。



お願い

オイルトレイをはずしている間は本体から油が落ちる恐れがあります。オイルトレイ取付部内で、落下する油を受けるようにしてください。変色を防ぐため、台所用洗剤（中性）以外は使用しないでください。「キズ」を防ぐため、硬いタワシを使用しないでください。

- ①オイルトレイをゆっくりと、水平に引き出してください。
- ②油を捨てた後、付着している油はやわらかい布やスポンジで拭いてください。汚れが取れない場合は、薄めた中性洗剤で洗ってください。
- ③オイルトレイを本体に戻してください。突き当たるまでしっかり差し込んでください。

キャッチプレートのお手入れ〔月2回程度〕

キャッチプレートに油がつきはじめたら、掃除してください。月2回程度の掃除が清潔を保ちます。



注意



キャッチプレートを取り外したり、取り付けする時は、コンロを止め、必ず運転を停止する。コンロがついていたりファンが回っていると危険です。



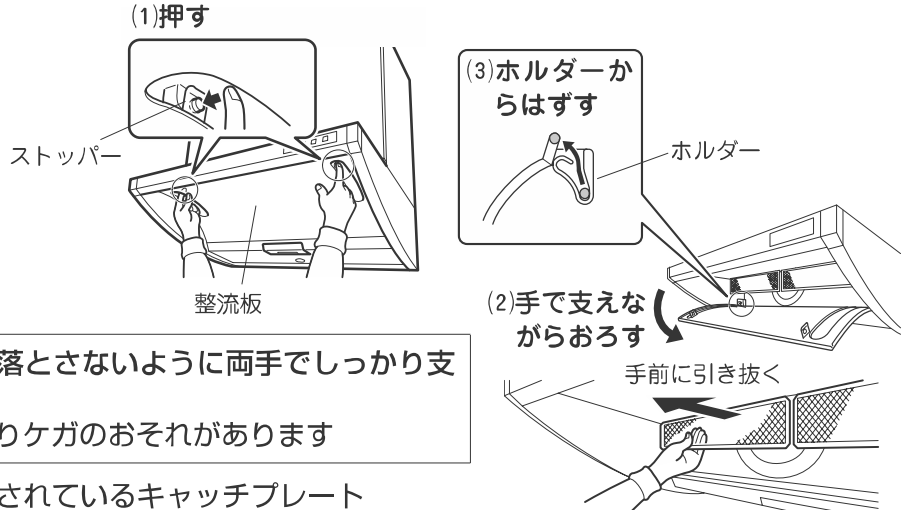
キャッチプレートを取り外したり、取り付けする時は、落下しないよう下の手順を守る。やけどやけがのおそれがあります。

注意

- ❗ 必ず厚手の手袋をする。
キャッチプレートの端部・突部で手を切る恐れがあります。
- ⊘ キャッチプレートは、市販品や訪問販売されているもの（不織布等の金属製以外のものも含む）は使用しない。
引火や故障のおそれがあります。
- ❗ 整流板はストッパーで「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
落下してケガのおそれがあります。
- ⊘ キャッチプレートを食器洗い乾燥機で洗わないでください。
キャッチプレートの塗装を傷めるおそれがあります。

①キャッチプレートの取り外し

整流板の左右の吸込み口上部の内部にある整流板ストッパーを指で押し、整流板前面を支えながら、図の位置まで開いてください。
整流板を支えながら、整流板軸をホルダーから外してください。



注意

- ❗ 整流板を落とさないように両手でしっかり支える
落下によりケガのおそれがあります

天板の左右（2ヶ所）の溝に挿入されているキャッチプレートを手前へ引き抜いてください。

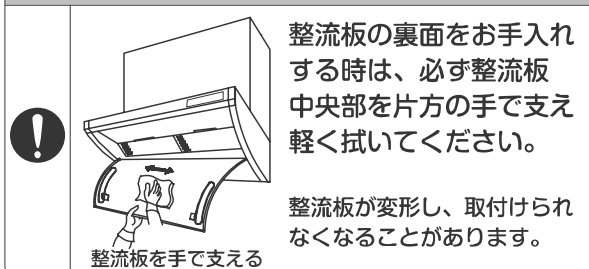
- ②キャッチプレートが収まる大きさの容器に市販の“中性洗剤”を薄めたぬるま湯（40℃）を用意します。
- ③キャッチプレートを容器内で30分浸漬します。
- ④キャッチプレートを容器の中で浸したまま、水平な状態で歯ブラシ等を使って、こすってください。
平らでない場合、キャッチプレートが変形する恐れがあります。
また硬いタワシ等でこすると、キャッチプレートにキズがつきますのでご注意ください。
- ⑤スポンジを使用して、水洗いしてください。
- ⑥完全に乾燥させてください。
- ⑦キャッチプレートの取り付け
外した時の逆の手順で、キャッチプレートを取り付けてください。
キャッチプレートがしっかりと挿入されていることを確認ください。
さらに整流板をもとの状態に戻してください。



整流板のお手入れ〔月1回程度〕

- 整流板表面のお手入れ
 - ・整流板表面に油の付着・汚れ等がありましたら中性洗剤を使用しやわらかい布で軽く拭いてください。
 - ・必ず空拭きをし、完全に乾燥させてからご使用ください。
- 整流板裏面のお手入れ
 - ①「キャッチプレートのお手入れ」に従い、整流板を下へ開きます。
 - ②裏面に油の付着・汚れ等がありましたら、整流板中央部を片方の手で支え、軽く拭いてください。
 - ③中性洗剤を使用し、やわらかい布で拭いてください。

注意



ファン・ケーシングのお手入れ〔年2回程度〕

「キャッチプレートのお手入れ」に従い、整流板・キャッチプレートを外します。



注意

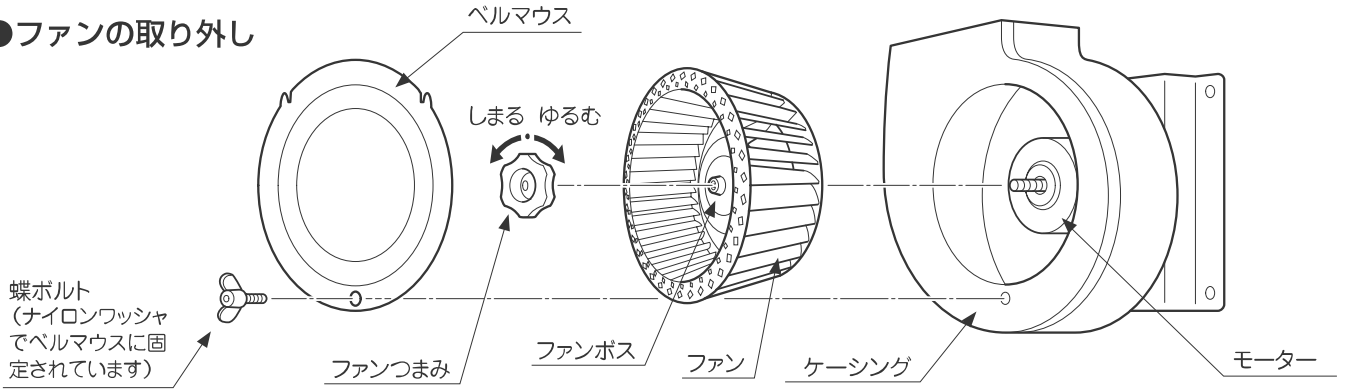


ファンが回転中には、絶対に内部に顔や手を入れない。
回転するファンだけが危しです。



必ず厚手の手袋をする。
ファンやケーシングの端部・突部で手を切る恐れがあります。

●ファンの取り外し



●汚れのひどいときは、下記の手順でお手入れをしてください。

- ①蝶ボルトをゆるめてベルマウスを取り外した後、ファンつまみを「ゆるむ」方向に回転させファンを外します。ファンボスをつまんで前に引き抜きながら外します。
- ②市販の中性洗剤を入れたぬるま湯（40℃程度）にファンを20～30分浸します。
- ③スポンジやタオルでこすって汚れを落としてください。
- ④ケーシングの内部もスポンジやタオルでこすって汚れを落としてください。
- ⑤ファンはあまり強くこすらないでください。変形しますと、排気性能が低下したり、運転中異音が出る場合があります。

お願い

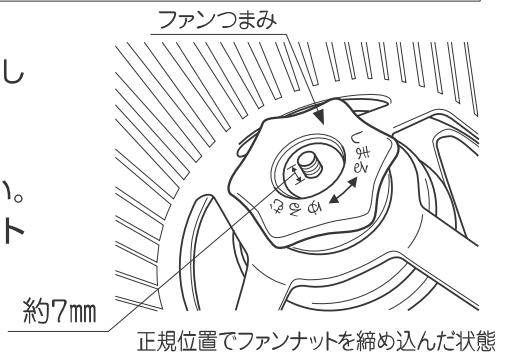
モーターに直接、洗剤・水をかけないでください。
故障の原因となります。

●ファンの取り付け

外した時の逆の手順でモータにファンをはめ込み、ファンつまみを「しめる」方向に回転させしっかりと取り付けます。
ファンつまみを閉めるとモータ軸が約7mm出ます。
出が少ない場合は、もう一度しっかりとファンを差し直してください。

●ケーシング上部の角穴にベルマウスのツメを差し込み、蝶ボルトで固定します。

●キャッチプレート、整流板を取り付けます。



注意

- ・キャッチプレートは奥までしっかりとめ込んでください。
- ・整流板はストッパーで「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。落下してケガのおそれがあります。

フード本体内部のお手入れ〔月1回程度〕

「キャッチプレートのお手入れ」に従い、整流板、キャッチプレートを外します。ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を浸したスポンジや柔らかい布などでフード本体内部の汚れをふきとります。ふきとった後は、水で湿らせた布で洗剤が残らないようにふき取り、乾いた布で水分をとってください。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に、次の点を一度お調べ下さい。

症状/現象	原因	対処方法
<ul style="list-style-type: none"> ●操作スイッチを入れてもファン・照明の電源が入らない。 ●ファンが回らない。 	分電盤のブレーカーが「切」になっている。	分電盤のブレーカーを「入」にする。
	操作スイッチがロック状態になっている。	レンジフード本体の「切」スイッチを3秒以上押し続けてロックを解除する。
	電源プラグが外れている。	電源プラグを入れる。
●照明がつかない	LEDランプが故障している。	LEDランプ交換を販売店へ依頼する。
●異常音がする。	ファンつまみが緩んでいる。	ファンつまみを締め直す。
	ベルマウスの蝶ボルトが緩んでいる。	ベルマウスの蝶ボルトを締め直す。
	キャッチプレートが汚れている。	キャッチプレートを掃除する。
	給気が十分でない。	十分な給気を確保する。
●吸い込みが悪い。	キャッチプレート・整流板がしっかりはまっていない。	キャッチプレート・整流板をしっかりと組立てる。
	給気が不足している。	十分な給気を確保する。
	エアコンや窓からの風があたっている。	風があたらないようにする。
●調理器具と連動しない。 (別売レンジフード連動タイプ専用調理器具を使用した場合)	調理器具の電池が減っている。	電池を交換する。
	調理器具の送信部や本体操作スイッチの「連動受信部」が油で汚れている。	送信部、受信部を掃除する。
	操作スイッチがロック状態になっている。 (ロック状態では調理器具を着火(運転)した時「ピピッ」という音がします。)	レンジフード本体の「切」スイッチを3秒以上押し続けてロックを解除する。
	調理器具が送信する赤外線信号が本体操作スイッチの受信部に届いていない。	鍋、釜、手、頭等で赤外線信号を遮らないようにする。また、赤外線信号が人体に反射し、受信部で受信出来る位置に立って操作する。
●操作スイッチ部のランプが全て点滅する (運転・ロック・入の全ランプ)	ファンモータが故障している。	ご使用をやめ、お買上げの販売店にご連絡ください。

本製品の設計上の標準使用期間について

本製品は、設計上の標準使用期間を10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがございます。

※設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件（下記の〈設計上の標準使用期間の算定の根拠〉参照。）の下で、適切な取扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品毎に設定されるものです（消安法第32条の3）。メーカー無償保証期間とは異なるものですのでご注意ください。

設計上の標準使用期間の算定の根拠

本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、以下の標準的な使用条件を想定して、当社において耐久試験等を行った結果算出された数値等に基づき、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期として設計上の標準使用期間を設定しております。

《標準的な使用条件》

大項目	中項目	小項目
環境条件	電圧	100V
	周波数	50Hz/60Hz
	温度	20℃
	湿度	相対湿度65%
	設置条件	標準設置（取付設置説明書による）
負荷条件		定格負荷
想定時間	1年の使用時間	2,410時間/年

※社団法人 日本電機工業会の「各製品別 設計標準使用期間の標準的な使用条件（概要）」の「換気扇」から引用

〈ご注意ください〉

- ・本製品を上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境などでお使い頂いた場合においては、設計上の標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが多くなることが予想されます。
- ・製品を目的以外の用途で使用したり、業務用に使用されるなど、上記の標準的な使用条件と異なる環境で使用された場合も設計上の標準使用期間の到来前に経年劣化による重大事故発生のおそれが高まることと予想されますが、このようなご使用は、お控えいただくようお願いいたします。

仕様

定格電圧 (V)	運転風量	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m ³ /h)		騒音 (dB)	製品重量 (kg)
				OPa	100Pa		
100	ターボ	50/60	60	530	430	47	22 (NST-931SI)
	強		30	430	260	42	
	中		16	310	—	36	
	弱		8	210	—	33	
	常時換気		4	70	—	25以下	20 (NST-731SI)

※消費電力、風量、騒音の測定は、JIS C9603による。

※レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証

万一不具合がございました際には、無料修理規定に従ってご購入日より1年の期間、無料修理させていただきます。

※保証書はこの取扱説明書の中にあります。

補修用性能部品の最低保有期間

弊社は、本製品の補修用性能部品を、製造打切り後7年間保有しております。

販売店からの注文により、供給致します。

※性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理の際の連絡先

この取扱説明書をよくお読みの上再度点検していただき、異常があるときは、ご使用を中止し、ブレーカーを切ってお買い上げの販売店もしくは、お買い上げのキッチンメーカーにご連絡ください。

保証書

品番	NST-931SI / NST-731SI			出張修理
製造番号				
保証期間	お引き渡し日より本体1年間		お引き渡し	年 月 日
★お客様	ご住所	〒□□□-□□□□		
	お名前	様 TEL ()		
★販売店	住所			印 または サイン
	店名	TEL ()		

★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

《無料修理規定》

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、表記の期間、無料修理させていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店もしくはお買い上げのキッチンメーカーにお申し付けください。
(ロ) この商品は、出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げ販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合は、お買い上げのキッチンメーカーのご相談窓口へご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い上げ後の取り付け場所の移設・輸送・落下などによる故障及び損傷
 - 対象商品本体以外の不具合に起因する故障及び損傷
 - 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）等による故障及び損傷
 - 消耗品等を含む経年変化によるものまたは使用に伴う摩耗・サビ・かび・変質・変色・その他類似の事由による取り換えや修理
 - メンテナンス上の不備による故障及び損傷 例) 指定洗剤以外の洗剤の使用による変色・腐食等
 - 本書のご提示がない場合
 - 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 ※ This warranty is valid only Japan.
- 本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

※お客様にご記入いただいた個人情報、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

LSMAN1212